

大野木グラウンドワークだより

平成 21 年 5 月 15 日 発行 NO 32 発行責任者 藤田 博、伊藤 晋

5 月 10 日真夏日になって、連休後半からの雨で草の繁茂はものすごく、ひざまでくらいびっしり一面緑のジュータン、小さなタケノコもあちこちに、根っこはまだまだがんばっているみたい。

くるみの苗の周辺草取りをするのにしゃがみこむと、耳元に「プーン」暖かくなってもう蚊が出始めたのです。

ファイヤーサークルに近所の方が竹の枯れ材を運び込まれていて、これがたいそうよく燃えまして朝から暑くて、気温はどんどん上昇、草刈機のうなり声、ビオトープ内の繁茂したカヤの根っことり

夢塾公園の中には様々な音が響きわたり、いよいよ初夏のニオイの中に煙が立ち上がりました。やっぱり春から夏への季節はいいですね。

炭材の詰め込みが始まった、チェーンソーが次々にけやきを切っていく、それを窯のなかへ運び込む、例によって流れ作業である

朝の打ち合わせではウバユリ、ウド、ホタルブクロ、くるみ、もみじ、さくら、シャガ、つる日々草、ヤマモモ、フキ、マムシ草に注意、草刈機で刈り取らないようにの注意も。しかし念のため中嶋さんが竹杭を作ってくださいって印をつけていただきましたので、きれいになったところでずーと見て回っていただく目印にもなります。

それから、築山のみかんの下くらいの見当ですが絶滅危惧種の「野漆」(のうるし) がみつかりました。山野草博士の伊藤さんによりますと、高島と湖北の琵琶湖岸の湿地帯にしかみられない希少な植物だそうです。そこで、何故ここに種がおちたのか。の推理ですが、この土は柿の木川の砂防堰堤現場の掘削土を一旦須川の貯留場にもっていき、それをここ竹根を掘り返した跡にダンプで運んでもらった土であって、

すると、山の中に種があった(川底の石が見られることから、ものすごい時間をかけて隆起したことが伺える) 説と須川の砂走川から上がってきたのか。はたまた鳥は運ばないとすると(白い乳液だ出て毒性があるから) 誰が、どうして……?

今日雑感

エイズといい、BSE といい、さらには鳥・豚インフルエンザまたミツバチも、今、地球周囲の生物界に異変へのシグナルが発せられているのかも。

南米の鉱山で巻き上がったチリが、また広大な農園に飛行機から散布される農薬が、中国からの黄砂の如く地球周回していくうちに化学製品（物質）とミスマッチングを起こし、環境ホルモンを刺激し、遺伝子組み換え作物等々から発現する予兆として全世界的にミツバチが姿を消し始めたのではないか。

これは地球物理学的に生物学を解いていかないと、それにしても一つ一つを検証しつつ行き付くには、まだこれから 30 年ないし 50 年くらいは最低かかるのでしょうか。

でも、どうも自然のサイクル、摂理を人間はあたかも克服、管理し得たような錯覚を覚えていたことを、今一度反省する時なのかも。まだまだ自然の摂理の 100 万分の 1 も人類は知り得ていないのかも、

こどもの虐待、高齢者の悲劇・・・次々と顔を背けたくなる報道があります。少子高齢化社会の断面をどう見るか、状況判断をしっかりとしないと木は見えても森が見えなくなる。今、行政はしっかりしろと、そしてコミュニティはどうしているのかと、大いに耕論すべし、そして正義をしっかりと取り戻し、即・行動できる勇気を持ち合わせる事が日本人に必要なのだと思います。

これは大野木のマルシン跡地の産廃処理場のことにも当てはまることです。行政は何かのひとつ覚えのごとく「有価ですから」と逃げ腰の一点張り、総合的、客観的に市民の目から見ておかしいものはおかしいのです。地元としては絶対反対を貫き通して、しっかり監視を強め、必ず追い出していく覚悟です。

ちよボラ通りから政所夢塾公園という身近な環境改善活動の場に侵入してきた産廃屋さんは絶対に許すことは出来ません。力を合わせてがんばっていきたいと思います。

「大野木エコミュージアム」

カタカナはどうも苦手、見ただけで読む気がしない人は多いのですが是非ご一読のほどを。これは造語でして、エコロジー（環境と生物の関係）とミュージアム（博物館）をくっつけたもので大きな博物館施設の展示物だけでなく、いくつかの場所にも見学施設が存在するという意味での総称に使われています。

エリアは県全体とか広域的に考えることもあれば大野木という小さな地区単位でもできることだと思います。具体的には大野木という地域を大人と子どもと一緒に体験するしくみであると理解することもできます。

地元のものを見直して、地元のを生かして、何かやっていけることが大事でして、そのためにはまずお年寄りに話を聞くことだと思います。山のこと、水のこと、畑のこと、田んぼのこと何でもご存知ですから、まさにお年寄り一人ひとりが学芸員であり図書館でもあります。ですから区内をお年寄りが歩いておられたら「図書館が歩いている」と思ってください。

地元の人が、地元を知らないと、地元はよくなりません。

なんでもないことでも、ほっといたらなんでもなく流れていってしまうが、ある人が意図的にすくいあげ意図的に残るしくみを伝えていけば、これはもう立派なエコミュージアムなのです。

大野木にも歴史はごろごろころがっています。人もいろいろなものをもっています。そして、昔を思い出してください、夏には、秋には、冬には、春になったら何をしていたのですか。

エコミュージアムがうまく行っているところには水があるといわれています。

大野木には政所川、親谷川、柿の木川、白木川があつてため池もあります。

大野木のエコミュージアムはお年寄りそのものなのです。

これからもお年寄りと水をずっと大事にしていきたいと思います。

5月です

ナス、トマト、キュウリ、ピーマン、スイカ、トウモロコシ、シシトウ、カボチャ、ウリ、マクワ、レイシ、メロン、カンピョウ、トウガラシ、パセリ、モロヘイヤ、アシタバ、青チソ、ヤーコン、キャベツ、ブロッコリー、レタス、そらまめ、さといも、オクラ、アスパラ、九条ネギ、下仁田ネギ、モロッコ豆、枝豆、それぞれにさらに品種があつてどれを選ぶか苗屋さんは大賑わい。

5月、家庭菜園の植え付けシーズン到来。勘定は二箇所で行列、時おり知人にもお会いしますが皆さん夫婦でニコニコと品定め、「高こうなったな」そら接木でパイオともなりますと100円が300円にも、トマトでしたら品種を3本ほどにして梅雨時に枝を挿し木で充分育ちますからそれで増やして結構な数まで植えられますね。

5月の緑、穏やかな温かみの中、植物たちはどんどん芽を吹き出してきました。

次回は6月7日(日)です

メニューとしては自転車小屋を収納庫に改造することに
3ミリ穴を鉄柱に開け4ミリ・タップネジでSPF材を取り付け、それをベースにコンパネで内装して棚などを取り付けます。外壁はトタンで、床張り、ドアの取り付けも、これに要する資材は当日までに調達する予定であります。

もう一つ、観察デッキの奥行きを整理しながら少し見通しよく森の整備を行いたいと考えております。

ですから炭窯の天井打ちは梅雨入りを待って少し湿り気がある時期にやることになります

それと、秋の中学生の体験学習の受け入れですが、この4月の移動で学年主任が新たに着任されましたので5月12日PM柏原中学校で打ち合わせを行いました。

一年生40名 クラスはAとB 学年主任の中山先生と校長先生、保健の5人で引率ということです。ですから10月20日(火)は①竹切②間伐③クラフトの3班編成での体験学習支援ということに。加えてプラス45名の食事準備ということになりますので今から段取り方よろしく願いいたします。

中山先生にはこれから毎年子どもたちの学習の場として、互いにリクエストしながら気付きの点を改良しつつ良き交流の場にしていきたいですね。と確認させていただきました。各位からお気付きの点なりございましたら、ご指摘なりよろしく願いいたします。

大野木グラウンドワークだより



休憩のひと時



新緑の季節です、草が生茂りました



サインはV

炭窯に材料が詰まり再度天井を作る準備が出来た



森林浴は如何ですか？



マーガレット or 除虫菊



森の中は山野草の宝庫です。エンゴサク・踊子草・ウバユリ・ホタルブクロ探せば色々珍しい野草が見つかるよ



次回は六月七日(日)です